



なしの木

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 長幡小学校
令和5年12月 8日
第 16 号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】提出された冊数：203冊 1冊以上提出した児童数：80名 12月1日現在

もうすぐ冬休み！

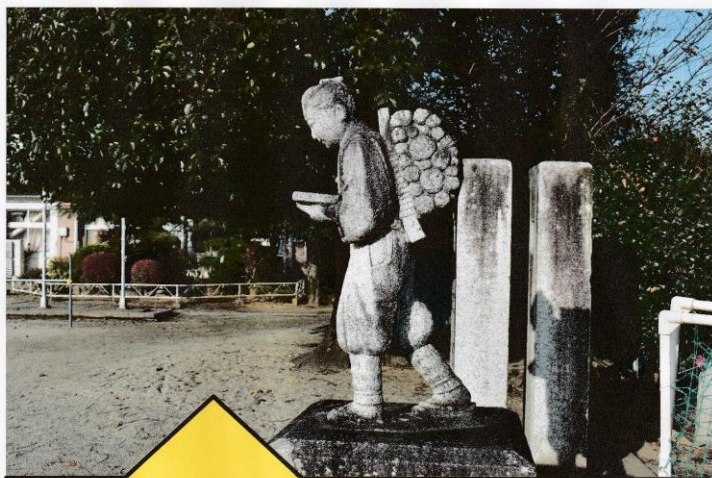
授業日数で数えると、73日間にわたる2学期が、もうすぐ終了します。冬休みを待ち遠しく思っている子供たちも多いことでしょう。

楽しみは楽しみとしてとっておいて、最後まで気を緩めることなく、事故等に十分気を付けて生活してほしいと願っています。

全校朝会(12月)

夢と笑顔と「ありがとう」があふれる長幡小学校

～二宮尊徳（金次郎）について～



「積小為大」 小さなことをなまけることなくつとめれば、やがて大きな目標に到達することができる。

「推譲」 自分の持っている力（1%の力）を「世のため、人のため」に使おう。

積小為大

12月の全校朝会では、二宮尊徳の話をしました。二宮尊徳は、荒廃した多くの村々を復興させた人ですが、尊徳の考え方の一つに『積小為大』というものがあります。小さな努力を積み重ねることによって、やがて大きな目標を成し遂げることができることを子供たちに伝えたいと思いました。全ては、小さな努力、小さな一歩から始まります。それを途中で諦めることなく継続していく中で、忍耐力や克己心が育まれていくものと考えています。

また、『推譲』という考え方については、自分の持っている力の1%でよいから、「世のため・人のため」に使ってみようということを伝えました。例えば、廊下にゴミが落ちていたら、持っている力の1%を使えば拾うことができるのではないか。生活の中で、1%の力を使えばできることがたくさんあるのではないか。それを見付けて実行することができれば、「夢と笑顔と『ありがとう』があふれる長幡小学校」にもっともっと近づける、そんな話をしたところでした。

<参考：「積小為大」と同じような意味で使われる言葉として>

- 塵も積もれば山となる。
- 千里の行も一歩より始まる。
- 積み重ね 積み重ねても また積み重ね。（建築家 内藤多仲）

長幡小の二宮尊徳像



五感に働きかける！

2学期も「6つのふれあい」体験活動の充実に向けて、様々な活動をお子たちに提供することができたように思います。学校応援団をはじめ、関係団体等の御協力ありがとうございました。様々な体験をしたからといって、学力や体力が急に伸びたり、豊かな心が急に育ったりといった速効性は期待できません。しかし、漢方薬のように、お子たちの成長に伴ってじわじわと効いてくるものと考えています。

五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）に働きかけ、感性を高める「6つのふれあい」体験活動をできる限りたくさん提供していきたいと思っています。



ブロッコリーの収穫（3年生）
大きなブロッコリーの重さにビックリ



箏体験（5年生）弦を弾いて箏の音色を味わいました。



薬物乱用防止教室（6年生）自らの力で薬物乱用の危険を回避できるように！

学力向上への取組

本年度2回目となる校内授業研究会を11月30日に実施しました。6年1組松田教諭・神教諭が、算数「比例の関係をくわしく調べよう」の授業を公開しました。

子供たちは、グループで考え方を交流したり、タブレットを使って関係性を見付けたり（左下の写真）しながら問題解決に意欲的に取り組んでいました。

今回は、川口市立安行中学校から参観希望の2名の教職員も加えて、研究協議を行いました。（右下の写真）当たり前のことですが、教師と児童が授業に真剣に向き合う中で、学力向上は推進していくものと認識を新たにしました。



車椅子体験（4年生）車椅子を押す人、車椅子に乗る人、それぞれの立場を体験しました。

